



# AJU 愛実

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家/愛実友だちの家/紙風船)

## 第13号 会報

定価:一部50円

理事長 島しづ子より	.....	P1
2009年度収支計算書	.....	P2
木場移転改装事業のご報告	.....	P3~4
愛実友だちの家のページ	.....	P5~6
大地の家のページ	.....	P7~8
紙風船のページ	.....	P9~12
「空気(ニューマ)のこと」/南 寿樹	.....	P13
寄付者名簿	.....	P14



**大地の家**  
「テラスでまったり」



**愛実友だちの家**  
「荒子川公園にお出かけ」



**紙風船**  
「桜の下で」



ホームページができました!  
<http://www.aminokai.com/>

## 2009年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位 円)

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	予算額	決算額	備考
<b>(資金収支の部)</b>			
<b>I 経常収入の部</b>			
1 会費・入会金収入	150,000	178,000	
1) 会費収入	150,000	178,000	
2 事業収入	105,806,000	106,146,926	
1) 自立支援費収入	79,400,000	79,417,346	
2) 負担収入支援費	576,000	759,729	
3) 補助金収入	23,100,000	24,029,471	
4) 食費収入	2,630,000	1,940,380	
5) 他利用料収入	100,000	0	
3 就労支援事業収入	562,000	303,047	紙風船活動による収入
1) 公演収入		190,900	
2) 物品販売収入		62,128	
4) 軽作業収入		50,019	
4 寄付金収入	900,000	7,476,374	
1) 寄付金収入	900,000	7,476,374	NPO資金、移転改装寄付、車輛助成、その他
5 雑収入	0	11,971	
1) 受取利息	0	11,971	
2) 雑収入	0	0	
経常収入合計	107,418,000	114,116,318	
<b>II 経常支出の部</b>			
1 事業費	93,574,000	98,807,930	
2 直接処遇事業費	3,900,000	3,405,280	
3 就労支援事業費	583,000	784,232	紙風船公演活動、メンバー給与等
4 管理費	3,058,300	5,022,631	
(内、法人税等)		2,433,893	
5 固定資産取得支出	0	0	
6 予備費	6,302,700	0	
1) 予備費	6,302,700	0	
経常支出合計	107,418,000	108,020,073	
経常収支差額	0	6,096,245	

# 木場移転改装事業のご報告

昨年 12 月、移転計画が具体化されてから半年が経過し、移転に関するすべての事業を滞りなく終えることが出来ました。短期間の間に本当に多くの方々の支援を受け、素晴らしい施設が与えられました。感謝を持って下記の通り報告させていただきます。

## ◆移転までの流れ◆

12/6 木場物件見学会      12/23 臨時総会にて移転決議      1/下旬～3/15 改装工事  
 3/29～30 引っ越し      3/31 内覧会      4/1 開所式

## 移転改装事業会計報告

収 入 (円)		備 考	支 出 (円)		備 考
寄 付	2,675,000	移転改装	初期費用	1,290,000	敷金・保証金・礼金
銀行融資	20,000,000	日本政策金融公庫	改装工事費	36,034,950	設計費含
個人借入	24,300,000	32 名	換気扇工事	1,575,000	
			カーポート工事	2,100,000	屋根・舗装工事等
			サイン工事	525,000	看板・表札
			網戸・段差工事	373,000	
			施設整備費	4,252,454	備品
合 計	46,975,000		合 計	46,150,404	

※ その他、空調・厨房設備は、リース（7年）にて設置いたしました。

※ 借入・融資の返済につきましては、7～8年の償還計画を立て完済する予定です。

また、一昨年から重要な課題となっていました NPO 資金につきましては、目標額 1000 万を 2009 年度に皆様からの寄付と法人の営業努力により達成することができました。借入の返済等しばらくは厳しい予算状況が続きますが、運営資金の基盤ができたことで『愛実の会の理念』に基づき、新たに示される課題についても更なる発展を目指し取り組んでいくことができます。

今後とも皆様方と共に歩いていくことを心より願い、引き続きご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。 ありがとうございました。





特別非営利活動法人  
愛実の会

# 障がい者デイセンター愛実スタート

内覧会 2010年3月31日

施設がようやく完成し、外部の方たちに観ていただくため内覧会を実施いたしました。新しい施設に皆さまの笑顔があふれ、内覧会は無事に終了いたしました。各デイルームも広くゆったりとしたスペースができ、また家庭的であったり人形劇の練習場にできるなど、それぞれの特徴を生かした作りとなっています。お手洗いも広々としていて、清潔感のある空間でありとても嬉しく感じています。お忙しい中、足を運んでいただいた皆さま、ありがとうございました。またいつでも見学お待ちしております。



開所式 2010年4月1日

内覧会が無事に終わり、翌日愛実の会全体で開所式のセレモニーを開催いたしました。当日は「あっここの会」の皆様に堀川太鼓の演奏をしていただき、迫力ある太鼓の音色で盛り上げていただきました。また、今回移転に関して改装において深くかかわっていただいた設計士の永井様、そして施工会社の方々にも来ていただき、改めて感謝の気持ちをお伝える事ができました。

笑顔で通所してくださるメンバーの皆さんを始め、移転にあたり関わったくださった皆様、ご支援いただいた皆様に、新しいスタートが切れたことを心より感謝いたします。



## 引っ越しました！！



前号で移転のお知らせをしましたが、3月末に長年過ごした熱田区五番町を離れ、ここ港区木場町に移転。  
4/1にめでたく開所式を済ませ、新しい場所で楽しく穏やかに過ごしている愛実友だちの家です。  
新天地では、3部署と事務所が一同に集まっています。愛実友だちの家はその中でも一番南側の暖かい部屋を割り当ててもらうことができました。  
南側一面がガラス張りでオープンカフェのような場所です。  
東側にも明かり採りの窓があってとても明るいですよ。  
天井からぶら下がっているのは梅雨対策のてるてる坊主。  
今回は新しい愛実友だちの家の内部をご紹介します。



愛実の会の玄関から入ってすぐ右手。下駄箱の上の掲示板が愛実友だちの家の掲示板です。  
5月はゴミ袋にメンバーそれぞれがデザインしたうろこを貼りつけたこいのぼりと、色付けした砂を下絵に撒いて貼りつけたこいのぼりが飾ってありました。  
その他に、メンバーのピカイチ写真を飾ったり、その月毎の予定表が掲示してありますのでお越しの際はぜひ、この掲示板にも注目してくださいね！！





入口にはこのマークが。  
『友だち』というイメージ  
で作ってもらったこのマーク。  
なかなか素敵だと思いませんか？

なんと！！  
食器洗い洗浄機が！！  
2009年度の赤い羽根共同募金より  
奇贈していただきました。  
みなさん、ご協力ありがとうございました。  
これで午後の時間に余裕が持てます。



この絵はメンバーのお母さんのお知り合  
いが描かれた絵です。  
愛知県刈谷市の洲原公園は桜の名所  
として有名ですが、その洲原公園の桜、  
まるで写真のようで、景色に吸い込まれ  
そうです。

この絵もメンバーのお母さんからの  
プレゼント。  
そのお母さんたら、この絵を衝動買いした  
そうですが、  
誰かさんにそっくりで見ると癒されます。



ツイッターを始めました！  
[http://twitter.com/ami\\_tomo](http://twitter.com/ami_tomo)  
ぜひ皆さんものぞいてみてくださいね☆

新しい場所でみなさんのお越しをお待ちしています★



# 大地の家のページ

(P7~8)

## 開所式

4月1日、新たな場所でのスタートを祝い開所式を行いました。一時は間に合うかとヒヤヒヤした引っ越し作業もなんとか終わり、無事新しい「障がい者デイセンター愛実」をお披露目する事ができました☆

一度見学してもらっていたとはいえ、やはりメンバーたちにとっては見慣れない場所。どこか落ち着かない様子だったり、キョロキョロ不審そうに辺りを見回したり、すぐに慣れてリラックスムードだったり…と様々な反応を見せていました。



式では島さん、市議の斎藤さん、設計士の永井さんによる挨拶がありました。その後、永井さんと建築会社の方に花束のプレゼント。代表して渡してくれた以外のメンバーも、歓声や笑顔、拍手など、それぞれ自分なりの方法で感謝の気持ちを表していました。

また、「あっこの会」の方々による堀川太鼓の演奏もあり、会場を盛り上げてくれました。威勢の良い音にビビり気味のメンバーもいましたが、ノリノリでリズムを楽しむメンバーも多かったです♪



当日は広いはずの大地が狭く感じられるくらい、たくさんのメンバー・保護者の方々にお越しいただき、愛実の会は本当に大勢の人に支えられて成り立っているのだなあ、という事を改めて感じました。

場所が変わり、試行錯誤の毎日のため、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、より明るく楽しく「通いたい！」と思えるようなデイになるようアシスタント一同努力していきたいと思っております♪これからも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます(^▽^)

## 端午の節句

4月後半より端午の節句にむけて、鯉のぼりの壁画や、兜作りをしました。メンバーの手が絵の具で染まったり、はみ出て机に色付けしたりと、笑ったり驚いたりしながらの作業でしたが、見事に大地の家という大きい空を楽しげに泳ぐ鯉のぼりが出来上がりました。

新聞紙の兜は恒例ですが、今年はそれをデコレーション♪戦国武将風やキャラクター兜など…個性豊かな兜が勢ぞろいしました。

そして、お待ちかねのおやつは「柏餅風」。今回は白玉粉と小麦粉を混ぜた生地を薄く焼きあんこをくるみ、柏の葉を巻き出来上がり。食べやすいようにアレンジした柏餅に、メンバー&アシスタントは大満足でした。



## テラスでまったり



新しいデイセンターのスロープを上がってすぐ、玄関横にはちょっとしたテラスがあります。テーブルやベンチ、観葉植物もあり、そこはさながらオープンカフェのよう♪あまり時間がなかったり、天気が怪しかったりして散歩に行けないときなどはここに出てティータイム。ちょっとだけでも外の空気が味わえメンバー&アシスタントにとっての気分転換になっています(^▽^)



## ブログ始めました☆

不定期ですが、大地の家での活動の様子やその日のできごとなどを写真を交えて更新していきます。

会報や大地通信の限られたスペースではなかなかお伝えしきれない部分も書いていきたいと思っていますので、是非覗いてみてください(^\_^\*)

<http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>



携帯電話からも見る事が出来ます。⇒

愛実の会ホームページ (<http://www.aminokai.com/>) にもリンクがあります。

# 紙風船のページ

(P9~12)

2010年度の紙風船のテーマが決まりました！

「出会いを大切にしよう」  
～新作を完成させて外に出よう！みんなで広げよう紙風船の輪～



2009年度もたくさんの笑顔でいっぱいでした！  
新たなスタートを切るための別れやまた新しい出会いもありました。  
そして、4月より新たな場所での活動がスタート！紙風船の活動部屋は人形劇の  
為に、とても広々とした空間ができていることが最大の特徴です。

最初は今までのスペースとの違いにメンバーもアシスタントも戸惑い、なか  
なか広さに馴染めず落ち着かない日々もありました。広くなるがゆえに、お互  
いの声が届きにくかったりとコミュニケーションがとりにくく難しいこともあ  
りましたが、ようやく少しずつ居心地の良い空間として過ごせるようになって  
きました。

何より嬉しかったのが、自分たちの活動部屋で人形劇の練習ができるという  
こと！今までは練習のたびに大きな荷物を車に積み、練習場所まで運んでは組  
み立ての繰り返しでした。今は大きな備品庫も作っていただいたおかげで、人  
形劇の荷物もしまわう事ができ、練習も十分に行う事が出来ます。

ぜひ、またこの場所で人形劇の公演をし地域の方々などたくさんの方に人形劇  
を見ていただける機会を作っていきたいです！今年は新作を完成させて、どん  
どん積極的に外に出ていこうという意気込みでいます！今年度も紙風船をよろ  
しくお願いいたします。

2010年もたくさんの笑顔があふれ、たくさんの方と出会うことができ、  
メンバーもアシスタントも心豊かに過ごしていきたいです☆

外出スタート!!

昨年度は新型インフルエンザの影響でなかなか外出が  
できず残念でした。今年は張り切って外出活動も再開  
していきます☆

## イエローレシートキャンペーン in大高イオン



一年ぶりのイエローレシートキャンペーンへの参  
加となりました。メンバーもアシスタントも久しぶ  
りの大高イオンにワクワクしながら出かけて行きま  
した。

大高イオンは火曜特売という事もありたくさんのお  
客さんで大賑わいでした。午後にかけてお客さんの  
列が途切れることなくたくさんの方にご協力いただ  
くことができとてもうれしかったです。今年は張り  
切って呼びかけにどんどん参加

していききたいと思います。  
11日はぜひご協力よろしく  
お願いします。



## ウェルフェア2010

5月21日、ポートメッセなごやで開催され  
たウェルフェア2010に参加をしてきました。  
会場には介護用の自動車や様々な福祉用具など  
様々なものが展示されておりそれぞれ限られた  
時間を使って散策を行いました。

メンバーの中には、足の不自由な人がレースで  
使うバギーに試乗してみたり、実際にスロープ  
の付いた車両に乗ってみたり、それぞれ興味  
のあるブースを回ることができました。

とても暑い日でしたが、みんなで出向くこと  
ができ、普段ではなかなかできない体験がで  
きてよかったなと感じています。



### あとがき

2010年度より愛実の会が一カ所にまとまる事が出来ました。  
紙風船のメンバーもアシスタントも最初は戸惑いましたが、今はだいぶ慣れ  
てきました。これも皆様のご協力があった事の事と感謝しています。  
今秋の新作完成を目指して頑張っていきます。

メンバー 潮田則行

## <メンバーの想い>

「僕の好きなもの」

木村 圭宏

僕には好きなものがたくさんあります。

大きな声で歌を歌うこと。自分の声が周りのみんなに届き聞いてもらえると嬉しい。

それからBzが好き。コーヒーやディズニーリゾートが好き・・・

そして紙風船が好き！

紙風船は、みんなが優しくておもしろくて、とにかく楽しい！

朝どんなに眠くても、紙風船に行けば目が覚める！

それに僕は今、人形劇の活動にも参加しています。以前からおもしろそうだなあ。人形を動かしてみたいなあと思っていました。今は、メンバーのみんなとセリフの掛け合いが楽しくて、これからみんなに人形劇を見てもらえるのがたのしみです。

これからも楽しく頑張っていきます！よろしくお願いします！



## <協力者の想い>

「スマイル満点紙風船」

ボランティア 阿部 典子

紙風船は、メンバーもアシスタントも皆さん個性豊かで優しくったり、面白かったりでとても居心地の良い場所です。

私は紙風船の人達の笑顔が好きで、一人ひとりの笑顔がすぐに思い浮かぶくらい印象的です。

私自身、子供のころに怪我を負ったことから祖母に障がい者として扱われていました。

そのときは、祖母から不幸な子として思われ、自分でも不幸だと思っていました。

しかし、最近では自分が幸せかどうかは周りの人に決められることではなくて、自分で決めることだと思っています。紙風船のメンバーの素敵な笑顔を見ていたら、自分が昔不幸だと思って落ち込んでいたことが恥ずかしく思えます。

紙風船の人たちにはずっとこの先も笑顔を大切にしていってほしいです。

私は、若者でも熟女でもない微妙な年頃？ですが（笑）紙風船との出会いを大切に笑顔を大切にすごしていきたくと思います。

## 【公演だよ！】

第118回 2010年5月22日(土) 全障研大会南部プレ企画  
主催：全障研あいち大会実行委員会  
名古屋市南区役所講堂にて 13:30より 「モコちゃん」



今回の公演は8月に開催される全障研あいち大会のプレ企画としての公演でした。紙風船にとっては6カ月ぶりの公演。名古屋市内での公演という事もあり、知り合いの方もたくさん見に来てくださり、とても嬉しかったです。私たちの人形劇の後に、人形劇団「ポップコーン」や仲間たちによる歌があったりと会場はとても賑やかな雰囲気でした。8月の大会本番にむけて、会場が一つになったように感じました。

### ＜公演のお知らせ＞

2010年8月8日(日) 全国障害者問題研修会あいち大会  
文化活動大交流会にて公演予定 会場：日本福祉大学美浜キャンパス

※あいち大会への参加には別途申し込み＋参加費が必要となります。  
詳細につきましては全国障害者問題研究会愛知支部へお問い合わせください。  
〒456-0031 名古屋市熱田区神宮2-3-4もやいビル3F  
TEL080-3683-8822 FAX052-682-7913

### 夢づくり基金へのご協力をお願いいたします。



紙風船では昨年より新作づくりに取り組んできています。皆さまにも何度か会報をとおしてお伝えさせていただいてきました。そして、いよいよ4月より実際に人形や舞台設営、人形の操作方法など具体的な作業に取りかかっています。実際に人形のイメージ画をみたり、新しいテーブルの仮合わせをしたり、着々と進んできている人形劇にみんなわくわくしています。

しかし、現在紙風船では人形制作費における確保がおおきな課題となっています。今回は同時に3つの作品をつくるという事もあり舞台・人形等の制作に約300万円ほどの費用が必要となります。現在まだ半分の150万の予算しか準備ができていません。今後さまざまな助成等への呼びかけも積極的に行っていく予定です。そこで皆さまにも、紙風船の新作人形劇を完成させるために、ぜひ夢づくり基金へのご協力をお願いしたいと思っています。メンバーの思いを人形劇で伝えていくためにも、ご支援よろしくお願いたします。

# 空気（ニューマ）のこと

南 寿 樹

小学6年生になって間もない頃、教育実習生の三村先生の下宿先に山本君と一緒に遊びに行った。三村先生は「下宿は狭いから」と言い、新しくできた喫茶店に僕たちを連れて行ってくれた。そこで私は生まれて初めてコーヒーを飲んだ。「フレッシュ入れる？」と聞かれても、（フレッシュって何だ？）と戸惑う状態。二人は砂糖をいっぱい入れて、まるでホットのコーヒー牛乳のような甘いコーヒーを飲んだ。「南君の夢はなに？」「学校はおもしろい？」と聞く三村先生になんと答えたかはっきりしない。ただ兄のような三村先生が、僕たちを大人として接してくれたこと、笑い合ったこと、そのときの**空気**のようなものが最高に心地良かった。（卒業生やボランティアと食事に行くことが好きなのはこのことが原体験になっているのかも一余談）

中学1年生の生活は、毎日が伸びきったゴムのように張り詰めていた。勉強は「しっかりとやらないと順位が出て恥ずかしい」というプレッシャー。部活は、100人もの部員がいる名門野球部で、毎日走るか声を出しながらの球拾いで忍耐の日々。心身ともに疲れ切っていた。

そんな中で、唯一「美術」の授業が救いだっただ。火曜日の3、4時限にあったその授業を1週間前から楽しみにしていたほどだ。美術教師は、平岩先生というプロの初老画家。「俺は、頼まれたから臨時でここにおるけど、校長なんかこわくない。言いたいこと言う。別にお前らに何か教えたいとは思わない。ただ自分が感じたことを言うからお前たちも言え。美術は好きに表現していいんだ」というのは滅多にない真面目な時。いつもは「この前よ、面白いことがあったんだわ。聞きたい？」から始まり1時間余談ばかり。教室が笑いゆるみの**空気**になり、誰もが癒されていた。（平岩先生にあこがれ、同学年で3人が芸術家になった一余談）

高校時代は楽しかった。**校風**は他のどこの学校よりも自由で生徒同士が本当に仲が良く、高校生活を満喫できた。（管理がなく、あまりにも生徒の自主性を重んじるため・・・大学浪人率は断トツ一余談）

ここでは、高校生活そのもののことではなく、そのときの親友とその師匠のことに触れたい。

入学式の翌日に野球部の部室に集まった新入生は私と大田君の二人。彼とはそれ以来の付き合いになる。卒業後別々の大学に進学し、10年ほどしての再会が教職員組合の夏季学習会だった。彼は、民間の会社勤めを経て農業高校の教師になっていた。しかしその翌年「不登校の子たちの学校を作ろうとしている大越氏についていこうと決心した」と辞職した。彼が公務員を辞めてまでと尊敬する師匠の大越氏は、師友塾を立ち上げ今では全寮制の高等学校（大田君が校長）を作りこれまで6000人以上の不登校生徒の命に火をつけた。（今年の賀状にこれから農業に力を入れたいとあった一余談）

さて毎月送られてくる小冊子の会報の先月号に「**教育の空気説**」が書かれている。「ウチに来る子たちに（どうして学校に行かなくなったのだ）と聞くとほとんどの子が（なんとなく）と答え、次に必ずといっていいほど（学校の**空気**が合わなかった）と答えます」・・・大越氏は、その場の**空気**を「**ニューマ**」と呼び、良い**ニューマ**が子どもたちを元気にすると言う。そしてこの**ニューマ**はドアを開けた瞬間が勝負で、感性の鋭い子は瞬時に感じとるようだ。三村、平岩先生がどのように**空気**を作ってくれたのか・・・？高校時代はどうして不登校生徒がいなかったのか・・・？目に見えないだけに理論化やマニュアル化はできない。だからこの**空気**（**ニューマ**）のことは、教員養成大学でも直接的に教えられておらず、実践記録の中で確かめられているに過ぎない。ただ私なりに思うのは、誰もが「上から目線で教育してやろう」という管理感覚を捨て、「人間として大切に作る」という協働感覚の人格（心）形成に向け、不断の努力をすることは必要だろうということ。愛実の会全体で良い**空気**（**ニューマ**）を作っていけたら・・・

[賛助会費] 渡邊考哲 榛葉英子 戸谷令子 戸谷真也 戸軽佳代 山内務 岩田太万亀 渡邊綾子 森田いわ

[紙風船] 岡本恵子 中森由哉 中森照子 長崎京子 榛葉英子 戸田真二 奥田紘子 赤星実環 市野ちづ  
佐藤純子 佐藤太亮 斉藤紀子 斉藤充加 大島英稔 渡邊綾子 宮田鈴枝 一篠敬子 森永富貴子

[NPO 資金] 島しづ子 高橋範子

[寄付・その他]

愛知教会女性の会 青山志津子 捜真女学校中学部・高等部 鳴海教会 伊藤裕子 青本和彦 青本光子  
岡崎教会こどもの教会 伊藤幸雄 朽久保滯子 吉岡満智子 榛葉英子 桂正枝 福井神明教会 塚本千寿  
塚田高子 奥田紘子 佐藤純子 ルーテル復活教会 市原信太郎 市原誉子 市原麦穂 牧野みゆき 真木芳子  
佐藤太亮 平野晃 伊佐治クミ子 小島恵 依田欣哉 高橋範子 山村ミヨコ 佐藤貴和子 脇田純子  
平井克也 中森由哉 中森照子

[移転改装費]

後藤健一 岡本恵子 中森由哉 中森照子 真木芳子 野村裕子 吉岡満智子 長崎京子 東海教会 青本和彦  
青本光子 赤堀政夫 大野萌子 白田治子 小栗和子 赤星実環 戸軽佳代 高橋範子 渡邊綾子 宮田鈴枝  
吉澤道子

ご協力いただき本当にありがとうございます。大切に活用させていただきます。

任意団体「障害者・友だちの会・愛実」受付分

感謝いたします

紫陽花が6月の雨に濡れて花の色、葉の緑が都会のオアシスのように、何かホッと一息させてくれます。仕事の関係でいろいろの方とお便りの交換をしていますが、日々の生活の中であって、それぞれの憩いの時や場所を持っておられることの大切さを教えられています。そう、私には「愛実の会」はその時・その場であったことに、改めて感謝の思いにさせられました。今後とも、愛実の会グループを見守り、お育て下さい。長村

「寄付金個人・教会」 (複数回含む)

敬称略 (2010年1月末～2010年5月末)

大淵哲也 大淵真喜子 山崎京子 後藤光枝 三浦定代 笠谷恵子 原田 忠 平尾芳恵 学法・金城学院  
金城教会社会福祉委員会 知多奥田キリスト教センター

「賛助会費個人」 吉谷尚之 (複数回)

「土地建物基金個人」 岩田太万亀 (複数回)

「小窓から」 8

大野義徳

この仕事は、言わば「体が資本」だ。毎日が軽い筋トレのような日々。体を痛めると満足な介護ができない、ということだけでなく、痛いということ自体が辛い。腰が痛い足が痛いというのは、いつか治る、と分かってはいても不安だ。そんな時に、多く流れている保険のCMを見るにつけ、この体が動かなくなったら、大病に罹ったらどうしたらいいんだろうという不安が頭をもたげる。

ちょっとした体の痛みからでも、こんな具合に不安が増幅しがちな自分に比べて、すごいのはメンバーだ。カゼをひいてつらいとか、ケガをして痛いとか言うことはあっても、自分の障害があつてつらい、と言うところを見たことがない。いや心の中では思っているのかもしれない。でもそれを表に出すことがない。これはすごいことだ。

足が痛いだけで文句たらたら自分だったら、歩けないという障害を持つだけで、わめき散らすだけではすまないだろう。身体的、知的な障害を何重にも持っているメンバーもいらっしゃるが、その不平や不満を言わないばかりか、生きることにとっても前向きだ。周囲を思いやり、にこにこ日々を楽しむメンバーの姿。もっといろんなことがしたいと自己主張をするメンバー。何でそこまで生きることにとどん欲に、前向きになれるんだ、と自分を省みて涙が出そうになる。

そんなメンバーの姿から日々、元気をもらっているのは私だけではないだろう。「生きる」ということをメンバーが身をもって示している瞬間の連なりの中に自分がある。日常では忘れてしまいがちなことだが、ふと気づくとその尊厳に、いとおしさに、今この時の重大さを感じて身が震える。日々の忙しい仕事の中でも、みんなすごいな、オレはみんなみたいに生きられるのかな、という思いが頭をかすめる時が一瞬でもある、これはすごいところに私はいるのかもしれない。

## ご寄付をいただきました

### ◆イエローレシートキャンペーン

NPO法人愛実の会は、イオンで毎月11日に行われる「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にジャスコ名古屋みなと店様・千種若宮大通り店様・イオン大高店様に大地の家・愛実友だちの家・紙風船がそれぞれ登録させていただいています。  
このキャンペーンでは、お客様から集められたレシート合計金額の1%相当の商品を各団体に寄贈して頂きます。今回は食洗機やCDコンボなど活動を送る上で役立つ商品をたくさん頂くことができました。寄贈していただいた商品は大切に活用させていただきます。本当にありがとうございます。

### ◆赤い羽根共同募金会様より



この度、愛知県共同募金会様を通して赤い羽根共同募金助成を受け、デスクトップPC・食器洗浄機・デジタルムービービデオカメラといういずれも簡単に購入できる備品ではないのですが、助成を受ける事で購入することが出来ました。生活介護事業所（デイサービス）でのメンバーの活動やアシスタントの作業に早速大いに活用されており、大切に用いさせていただきます。ありがとうございました。

### ◆日本財団様より

私どもの法人は重度の身体障害のある方へのサポートに力を入れておりますが、送迎につきましては車椅子のまま乗車できる車輦はとてありがたいものです。日本財団様の助成を受け年度末にリフト付車輦を納車して頂きました。移転して活動を始めた4月初旬より早速メンバーの送迎等に活躍しております。送迎がないとここに来られないメンバーもいるのが現状の中、送迎体制がより充実致しました。ありがとうございました。



【所在地・連絡先】 ※4月より変更いたしました。

### 特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24  
TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889  
E-mail info@aminokai.com  
ホームページ http://www.aminokai.com

### 「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490  
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会員 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
- ◆ NPO資金 NPOの運営に関する費用

1□1,000円（NPO資金は1□3,000円）何□でも結構です。  
ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回（夏号と冬号）に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。  
ご利用下さい。